

日本スポーツ法学会第25回大会・プログラム

日本スポーツ法学会

◇ 日時：2017年12月16日（土）受付8時30分～

◇ 会場：同志社大学 新町キャンパス 臨光館 201教室、210教室、211教室
京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町159-1

アクセス：市営地下鉄烏丸線『今出川』駅から徒歩約10分

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/shinmachi.html>

*受付は、臨光館2階201教室前です。

◇ 全体テーマ：アスリートの権利は如何に保護されるべきか
～選手会・選手委員会の未来像

◇ 大会参加費：

一般会員1,000円、学生会員500円、非会員一般2,000円、非会員学生1,000円

[プログラム]

■ 自由研究発表（9時～12時）

* 発表20分 質疑10分

* 教室（Aグループ）と 教室（Bグループ）にて行う。

Aグループ（210教室） 司会・進行：望月 浩一郎・笠井 修

1. 9時～

「ドーピング紛争の弁護実務を通じた「重大な過誤又は過失」と量刑基準の考察
～サプリメント服用事案を中心に～」

☆虎ノ門協同法律事務所 大橋 卓生
兼子・岩松法律事務所 飯田 研吾

2. 9時30分～

「サプリメント摂取によるドーピング違反の危険性と法的課題」

☆中京大学法科大学院 石堂 典秀
西山法律事務所 下出 太平
太田・渡辺法律事務所 金刺 廣長
酒井法律事務所 井神 貴仁
名古屋第一法律事務所 兼村 知孝

3. 10時～

「欧州連合におけるドーピング対策のための法制度」

☆明治大学大学院法学研究科 野寺 巧寛

4. 10時30分～

「スポーツ事故判例の解説」※発表キャンセルの可能性あり

☆横浜綜合法律事務所 松原 範之

5. 11時～

「日本国内へのスポーツ・ベッティングの導入可能性」

☆弁護士法人淀屋橋・山上合同 増山 健

6. 11時30分～

「CBAによるアスリートのパブリシティ権の規律」

京橋法律事務所 高松 政裕
☆骨董通り法律事務所 小林 利明

Bグループ（211教室） 司会・進行：白井 久明・棚村 政行

1. 9時－

「スポーツに関する憲法規定の国際比較研究」

☆筑波大学 齋藤 健司

2. 9時30分－

「e-Sports の法律問題」

アスカ法律事務所 堀田 裕二

☆弁護士法人苗村法律事務所 田中 敦

3. 10時－

「韓国プロ野球におけるドラフト制度・海外リーグからの復帰選手等に関する

法的紛争について－韓国における裁判例を中心に－」

☆東京神谷町綜合法律事務所 金 弘智

4. 10時30分－

「競技団体の競技記録の公開と個人情報保護」

☆中島成綜合法律事務所 多賀 啓

5. 11時－

「スポーツ参加者の保護とスポーツ団体のガバナンスの重要性について

－イギリスでの学術調査を踏まえて－」

☆鹿屋体育大学 森 克己

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 内田 良

鹿屋体育大学 山田 理恵

6. 11時30分－

「カナダの代表選考仲裁における判断基準」

☆早稲田大学スポーツ科学学術院 松本 泰介

■ 理事会（212教室）（12時15分－13時）

■ 総 会（201教室）（13時－14時） 司会：川井圭司

■ 会長挨拶：井上 洋一

■ 総会議事：報告：川井圭司、堀田裕二

事業報告、決算報告、事業計画、予算案、その他

■ 副会長挨拶：齋藤健司

■ シンポジウム（201教室）（14時15分－17時）

■ 基調講演

辻口信良 「アスリートの権利は如何に保護されるべきか」

■ シンポジウム

「選手会・選手委員会の未来像」

川井圭司 選手会の世界的動向の観点から

松本泰介、岡村英祐 JPBPA・JPFA、その他、

新設の選手会・JOCアスリート委員会など現状のまとめ

渡辺伸行 競技団体の立場から

高橋美穂 アスリートの立場から

■ 意見交換会（17時30分－） 司会：桂 充弘

同志社大学 アマーク・ド・パラディ寒梅館 会費4000円